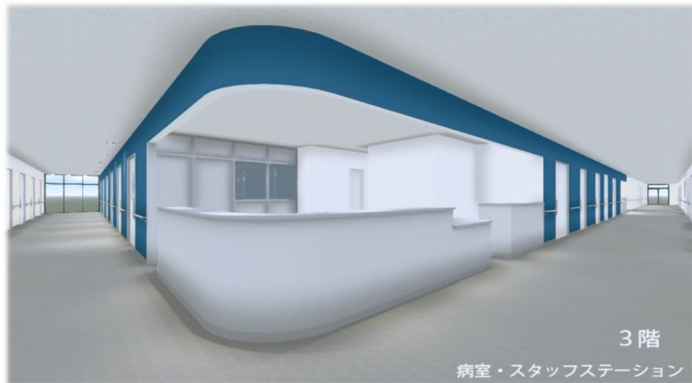


# 新病棟建築工事ニュース

## VR（バーチャルリアリティ）を使った設計について

新病棟の設計に当たっては、CG（コンピューターグラフィック）を駆使した、3次元で自在に動ける仮想空間（バーチャルリアリティ）を作成しました。

コンピューター上で、新病棟の中を人の目線で自由に歩き回ることが出来ます。



(病棟スタッフステーション前廊下)



(個室病室)

平面の設計図を見ただけではなかなか完成形のイメージはわかりませんが、立体化することにより「車椅子での移動に支障がないか?」「突起物や段差など、患者さんが転倒してしまうような危険はないか?」など、完成前に目で見て検証できるので、大変便利です。

## 新病棟の災害対策について

左の写真は、新病棟の地中に埋設する自家発電用の燃料タンクの設置時の写真です。

消防署の立会いの下、3万リットルの大きなタンクを設置しました。

万が一の停電時にも3日間、電源の供給が可能となります。

災害時においても、生命維持装置をはじめとする医療機器を不断で稼働させるための、これからの病院には必須の整備といえます。

